

平成30度

学校だより 11月号

# のびろ東っ子

明石市立高丘東小学校

校長 福本 悟

## 秋の夜長に考える・・・

学校の窓から見える高丘東公園の木々が美しく紅葉し始めています。季節は着実に歩を進め、秋の深まりを感じます。

日本語には秋を表す言葉がたくさんあります。錦、寒露、黄葉、金風などに加えて、「読書」「芸術」「スポーツ」「食欲」「行楽」の秋などが思い浮かびます。〇〇の秋はたくさんありますが、〇〇の春とか夏、冬はあまり聞きません。それほどに日本人は秋を愛していたのではないのでしょうか。



さて、子どもたちは音楽会に向けて「芸術の秋」を楽しんでいます。こうした行事では子どもたちの普段と違った表情が見られたりもします。ご家庭でも練習でご迷惑をおかけしているかもしれませんが、そんな姿も「音楽会」の一部として見守っていただければ幸いです。

「読書（勉強）の秋」も頑張っています。一説には気温が15℃前後のころが脳は一番活発に働くとか。読書でたくさんの心の栄養を蓄えて、学習に活かしたいものです。また、随分日暮れが早くなりました。すなわち、夜が長くなったということです。虫の音を聞きながら、読書に興じる夜、団欒を楽しむ夜、それから「沈思黙考」する夜など、夜をうまく使えれば人生が豊かになります。



最近、電車に乗れば乗客はほぼスマホを見ていますね。子どもたちも携帯ゲーム機に夢中な姿を見かけます。少し空いた時間を何かで埋めないと“ヒマ”という感じがあるのでしょうか。しかし、そんな時こそ黙ってじっくりモノゴトを考えるチャンスです。思索にふける時間は決して無駄ではないと思うのですがいかがでしょうか。